

ノルメル人：“低地スィレフ人”。ノルメル人もスィレフ人も異世界人（旧スィレフ人）とクラナ先住民（旧ノルメル人）の混血だが、スィレフ人は旧スィレフの血が濃く、ノルメル人は旧ノルメルの血が濃い。

大きく違うのは文字体系で、ノルメル人はリパライン語族のSOV系の言葉を使い、文字がなかった（ピクトグラム）。

スィレフ人は旧スィレフ人の神話スィレフ語を元に作られた現代スィレフ語・ナーガ文字を使用する。

彼らの間では話す言葉で素性を判断することが多い。

ノルメル人はスィレフ人と仲が悪い

現代でスィレフ人は1000万人ほどだが、ノルメル人は8000万人存在する
土地の扶養力が違うのだよ

ノルメル人は中世後期までは高度な文明を持ち、特に暦と石造りに優れていた。が、スィレフ人と違い長らく鋼鉄を持っておらず、スィレフ人の攻撃を度々受けた。

だが、攻めてきたスィレフ人部族はノルメル人と同化してしまうことが多く、最初の同化スィレフ人によるノルメル統一国家はノルメル第一帝国と呼ばれた。ちなみにこいつは三十年ほどでノルメル人の蜂起を許し、5カ国ほどに分裂する
その後は同化スィレフ王朝とノルメル王朝がいくつか繰り返し

中世に入りノルメル人にも鋼鉄の製法が普及したあたりで、スィレフ人の初の統一王朝が誕生する（大レツェヴァーリ国）

大レツェヴァーリ国はファヴニ高原を出て外部に侵略を開始し、ノルメル人王朝を勝手に統一。外部他クラナ世界までも進出するが後継争いと神のお告げ（これ以上拡大すると神罰が下るぞ）で崩壊。官僚として出ていたスィレフ人は各地に同化するか死ぬ

近世に入るとノルメル人によるノルメル統一王朝・トイマが銃兵隊を組織

スィレフへ復讐の如く侵攻し、モンスター外来種などに苦しんでいたスィレフはボコボコにやられる

ここでスィレフが断固として団結する方針でまとめ、第二次スィレフ統一王朝・大レツェリ国が成立

この“大レツェリ”は現在でもスィレフ立憲王国の元首称号である

そんな仲、満を待ってユエスレオネが登場、スィレフは知見と引き換えにユエスレオネに加盟する手段に出る

ノルメルは激怒するが、仲介でなんとか落ち着く

ノルメル、PMCFだっけ？ 激怒の流れのままユ連の敵対組織に加盟させてもいいかもしれない
独裁化させて北にしていこう

ノルメル人の特徴

- ・農耕民族
- ・イモ(ノルメルタロイモ)を主食とする
- ・歩兵民族
- ・指導力の強い指導者を好む、帝政や独裁志向
- ・スィレフ人が嫌い
- ・石造りの建物が多い
- ・石の彫刻を好む
- ・船を動かすのが得意
- ・平野の民
- ・ケートニアールがたまに存在する

スィレフ人

- ・半遊牧民族
- ・きっちりとした主食といった概念がない
- ・騎馬民族
- ・合議制を好む
- ・ノルメル人が嫌い
- ・土、木の建物が多い
- ・金属の彫刻を好む
- ・泥舟は得意だが船は知らぬ
- ・丘陵高原の民
- ・ネートニアールオンリー、対WP戦闘は強い